

Cisco Nexus Hyperfabric：サイトでのファブリックの展開

サイトでのファブリックの展開

Cisco Nexus HyperFabric は、ユーザーまたはネットワーク配線技術者が現場で実行する必要があるタスクをガイドする機能を提供することにより、ファブリック内のスイッチのケーブル配線作業を大幅に簡素化します。ネットワーク管理者は、Cisco Nexus HyperFabric を使用して、スイッチのケーブル配線計画を自動的に含むブループリントを作成します。専用のオンサイトページに移動して、タスクを表示およびフォローして物理ファブリック トポロジをセットアップしたり、進行状況を追跡したりできます。

または、ネットワーク管理者がブループリントのモバイル対応 Web ページの URL をネットワーク ケーブル接続技術者に提供することもできます。技術者はモバイルデバイスで URL を開いてブループリントを表示し、それに従って物理ファブリック トポロジをセットアップするか、またはファブリックのステータスを表示します。

URL の形式は「https://hyperfabric.cisco.com/fabric/fabric_ID/on-site」です。ファブリック ID は、[ファブリック (Fabrics)] ページまたは特定のファブリックの ページから取得できます。次に URL の例を示します。

<https://hyperfabric.cisco.com/fabric/abcd1d234-567e-8901-fghi-23j4k56l78mn/on-site>

オンサイト ページには、次の機能があります。

- [ステップバイ ステップガイド (Step by step guide)]：連続したリストでトポロジを設定する手順を提供します。[ステップバイ ステップガイドを使用してファブリック トポロジをセットアップする \(3 ページ\)](#) を参照してください。
- [機器の検査 (Inspect equipment)]：スイッチの部品を表示できます。[機器の検査 \(4 ページ\)](#) を参照してください。
- [要求とバインド (Claim and bind)]：スイッチの要求、バインド、およびバインド解除を行うことができます。[デバイスの要求 \(4 ページ\)](#)、[デバイスのバインド \(5 ページ\)](#)、および[デバイスのアンバインド \(6 ページ\)](#) を参照してください。
- [プラグブルの挿入 (Insert pluggables)]：スイッチにプラグブル (光ファイバ) を挿入する手順について説明します。[プラグブル モジュールの挿入 \(6 ページ\)](#) を参照してください。
- [ケーブル ファブリック (Cable fabric)]：スイッチを接続して物理トポロジを作成する手順を示します。[ファブリックのケーブル接続 \(7 ページ\)](#) を参照してください。
- [必要な修正 (Required fixes)]：ファブリック内の修正が必要な問題を指定します。[重大問題の対応 \(7 ページ\)](#) を参照してください。
- [詳細情報 (Learn more)]：このドキュメントを表示します。

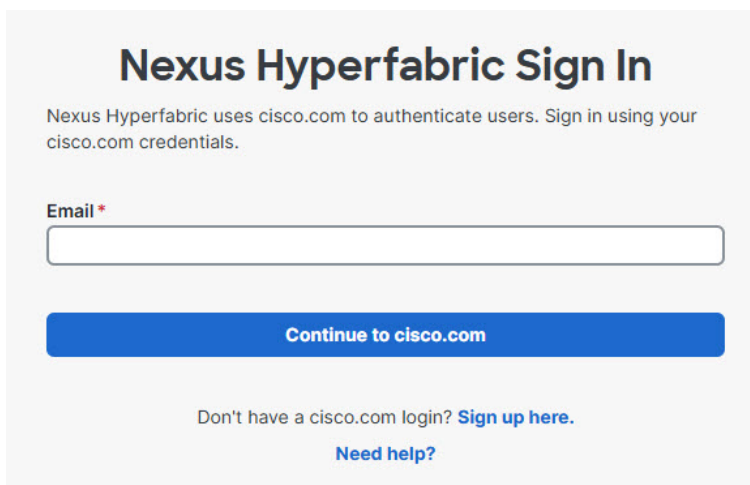
モバイル以外のデバイスで Cisco Nexus HyperFabric のオンサイトタスクを表示する

Cisco Nexus HyperFabric にログインする前に、cisco.com ユーザー アカウントが必要です。

モバイル以外のデバイスで Cisco Nexus HyperFabric のオンサイト タスクを表示するには、次の手順に従います。

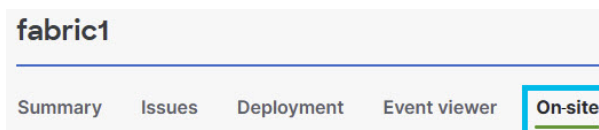
ステップ1 Webブラウザで <https://hyperfabric.cisco.com/> をポイントします。

ステップ2 すでにアカウントを持っている場合は、cisco.com の電子メールアドレスを入力し、[**cisco.com** へ続行 (Continue to cisco.com)] をクリックします。お客様はシスコのシングル サインオン (SSO) サービスによって認証されます。



a) アカウントを持っていない場合は、[**ここでサインアップ (Sign up here)**] を選択して必要な情報を入力し、この手順を繰り返します。

ステップ3 ログインが完了したら、**オンサイト**を選択します。



ステップ4 ページに表示されるタスクを確認します。

モバイルデバイスで Cisco Nexus HyperFabric のオンサイトタスクを表示する

Cisco Nexus HyperFabric にログインする前に、cisco.com ユーザー アカウントが必要です。

モバイル デバイスで Cisco Nexus HyperFabric のオンサイト タスクを表示するには、次の手順を実行します。

ステップ1 Webブラウザで、ネットワーク管理者からのモバイル対応の Web ページ URL を指定します。

ステップ2 すでにアカウントを持っている場合は、cisco.com の電子メールアドレスを入力し、**[cisco.com へ続行 (Continue to cisco.com)]** をクリックします。お客様はシスコのシングル サインオン (SSO) サービスによって認証されます。

- a) アカウントを持っていない場合は、**[ここでサインアップ (Sign up here)]** をタップして必要な情報を入力し、この手順を繰り返します。

ステップ3 画面に表示されるタスクを確認します。

ステップバイステップガイドを使用してファブリック トポロジをセットアップする

ステップバイステップガイドには、ファブリック トポロジをセットアップするプロセス全体をガイドするタスクの継続的なリストが用意されています。これには、次のような作業があります。

- 機器の検査
- デバイスの要求
- デバイスのバインディング
- プラガブル モジュールの挿入、および
- ファブリックのケーブル接続。

タスクが完了すると、タスク内の各項目のステータスが緑色になりますが、デバイスをファブリックにバインドした後だけです。

ステップバイステップガイドを使用してファブリック トポロジをセットアップするには、次の手順に従います。

ステップ1 「ステップバイステップガイド」を選択します。

ステップ2 提示されている順序でタスクを実行し、下にスクロールして他のタスクを表示します。

機器の検査

[機器の検査 (Inspect Equipment)] 画面では、ファブリック内のデバイスのハードウェア コンポーネントを表示できます。Cisco Nexus HyperFabric は、デバイスをバインドするまで機器のライブ ステータスをレポートできません。

機器を点検する手順は次のとおりです。

ステップ1 [機器の検査 (Inspect Equipment)] を選択します。

[機器の検査 (Inspect Equipment)] ページが表示されます。このページでは、バインドされたデバイスのハードウェア コンポーネントのステータスを確認できます。デバイスがバインドされていない場合、このページには、デバイスをバインドできるように調べるための機器のリストが表示されます。

ステップ2 いずれかの機器のステータスがグリーンでない場合は、問題を解決する必要があります。

デバイスの要求

デバイスを要求すると、そのデバイスが組織に関連付けられるため、そのデバイスを組織のファブリックで使用できるようになります。

デバイスを要求するには、次の手順に従います。

ステップ1 [要求 (Claim and bind)] を選択します。

デフォルトでは、[要求 (Claiming)] 画面が表示されます。以前にデバイスを要求したことがない場合、デバイスは表示されません。

ステップ2 [新しいデバイスの要求 (Claim new device)] を選択します。

[新しいスイッチの要求 (Claim new switch)] 画面が表示されます。

ステップ3 各デバイスのシリアル コンソールから要求コードを取得します。

詳細については、『Cisco Nexus Hyperfabric のスタートアップガイド』マニュアルの「[スイッチの要求](#)」の手順を参照してください。

ステップ4 [新しいスイッチの要求 (Claim new switch)] 画面でコードを入力し、[確認 (Verify)] を選択して、要求プロセスが成功したか失敗したかに応じて、これらのサブステップの1つに従います。

- a) 要求プロセスが成功した場合は、「スイッチが正常に要求されました」というメッセージが表示され、次のステップに進むことができます。
- b) 要求プロセスが失敗した場合、「スイッチの要求は失敗しました」というメッセージが表示され、[再試行 (Try again)] の要求を繰り返すか、[要求に戻る (Return to Claiming)] のいずれかを選択する必要があります。

ステップ5 追加のデバイスを要求する場合は、[新しいデバイスの要求 (Claim new device)] を選択し、手順3と4を繰り返します。

ステップ6 デバイスの要求が完了したら、[要求に戻る (Return to Claiming)] を選択します。

[要求 (Claiming)] 画面には、要求されたデバイスのシリアル番号とモデルが表示されます。

デバイスのバインド

デバイスをバインドする前に、少なくとも1つのデバイスを要求する必要があります。要求されたデバイスのスイッチモデルは、デバイスをバインドするファブリック ポジションのスイッチ モデルと一致する必要があります。



(注)

Cisco Nexus HyperFabric GUI の他の部分とは異なり、オンサイト ページでは構成変更の確認と適用を行う必要はありません。

デバイスをバインドするには、次の手順に従います。

ステップ1 [要求 (Claim and bind)] を選択します。

デフォルトでは、[要求 (Claiming)] 画面が表示されます。以前にデバイスを要求したことがない場合、デバイスは表示されません。

ステップ2 [バインディング (Binding)] を選択します。

ステップ3 デバイスをバインドするファブリック内の位置に対して [バインド (Bind)] を選択。

[<device-position> にバインド (Bind to <device-position>)] 画面が表示され、<device-position> には、[バインド (Bind)] を選択した場所が表示されます。この画面は、選択した位置にバインドできる要求されたデバイスを表示します。

a) バインドするデバイスが表示されない場合は、[新しいデバイスの要求 (Claim new device)] を選択します。

[新しいスイッチの要求 (Claim new switch)] 画面が表示されます。スイッチの要求方法については、[デバイスの要求 \(4 ページ\)](#) を参照してください。

ステップ4 バインドするデバイスを選択します。

ステップ5 デバイスを適用する構成を選択します。

- [ブループリントからの構成を活用 (Use configuration from blueprint)] : ファブリック ブループリントの構成を使用します。
- [デバイスから構成を活用 (Use configuration from device)] : デバイスにすでに存在する構成を使用します。

ステップ6 [バインド デバイス (Bind device)] を選択、バインドプロセスが成功したか失敗したかに応じて、次のサブステップのいずれかを実行します。

- a) バインドプロセスが成功した場合、「スイッチが[<device-position>]に正常に接続されました」というメッセージが表示され、[バインディングに戻る (Return to Binding)] を選択して続行する必要があります。
- b) バインドプロセスが失敗した場合、「スイッチバインディングは失敗しました」というメッセージが表示され、[再試行 (Try again)] を選択してバインドを繰り返すか、[バインドに戻って (Return to Binding)] を選択して他のことを行う必要があります。

ステップ7 追加のデバイスをバインドする場合は、この手順を繰り返します。

デバイスのアンバインド

デバイスのバインドを解除するには、少なくとも 1 つのデバイスがバインドされている必要があります。



(注)

Cisco Nexus HyperFabric GUI の他の部分とは異なり、オンサイト ページでは構成変更の確認と適用を行う必要はありません。

デバイスのバインドを解除するには、次の手順に従います。

ステップ1 [要求 (Claim and bind)] を選択します。

デフォルトでは、[要求 (Claiming)] 画面が表示されます。以前にデバイスを要求したことがない場合、デバイスは表示されません。

ステップ2 [バインディング (Binding)] を選択します。

ステップ3 [バインド解除 (Unbind)] を選択、デバイスがバインドされているファブリック内の位置に対してバインドを解除し、そのデバイスをアンバインドします。

ステップ4 [アンバインドの確認 (Confirm unbind)] ダイアログで、[アンバインド (Unbind)] を選択してアンバインドを確定します。

ステップ5 追加のオーディオ ファイルをアップロードする場合は、この手順を繰り返します。

プラグブル モジュールの挿入

プラグブル モジュールは、スイッチの光ファイバを指します。スイッチにケーブルを接続する前に、光ファイバを挿入する必要があります。

プラグブル モジュールを挿入する前に、少なくとも 1 つのデバイスを要求してバインドする必要があります。

プラグブル モジュールを挿入するには、次の手順に従います。

ステップ1 [プラグブルの挿入 (Insert pluggables)] を選択します。

ステップ2 ページの手順に従って、スイッチのポートインターフェイスにプラグブル モジュールを挿入します。

指定のポートインターフェイスに指定のプラグابلモジュールを挿入すると、タスクのステータスが緑色のチェックマークに変わります。間違ったプラグابلモジュールを挿入すると、ステータスが赤色に変わります。

ファブリックのケーブル接続

ケーブル接続は、デバイスを相互に接続してファブリックを作成するプロセスです。

ファブリックをオンボードするには、次の手順に従います。

ステップ1 [ファブリックのケーブル接続 (Cable fabric)] を選択します。

ステップ2 いずれかのデバイスのエントリを展開し、画面の指示に従って、そのデバイスのケーブルを接続します。

タスクが完了すると、関連する項目の横にあるアイコンが緑色のチェックマークに変わります。

a) ファブリック内のデバイスごとに、この手順を繰り返します。

重大問題の対応

オンサイトの[必要な修正 (Requiredfix(es))] ページには、ファブリックが適切に機能するように修正する必要がある事項のリストが表示されます。

クリティカルな問題に対処するには、次の手順に従います。

ステップ1 [必要な修正 (Requiredfix(es))] ページを表示するには、次のいずれかの方法を使用します。

- モバイルフレンド Web ページを使用している場合は、Notification (通告) ベル (🔔) をタップします。
- Cisco Nexus HyperFabric オンサイト ページを使用している場合は、[必要な修正 (Requiredfixes)] 領域で、[ネガティブ接続 (Negative connections)] を選択します。

[必要な修正 (Requiredfix(es))] ページが表示され、すべての重大な問題のリストが示されます。

ステップ2 問題を解決するには、示されているタスクを実行します。

問題を解決すると、その問題はページから消えます。

スイッチのQR コードをスキャンします

Cisco 6000 シリーズ スイッチには、固有の QR コードが記載されたステッカーが付いています。QR コードは、スイッチのシリアル番号を含む起動 URL を提供します。モバイルデバイスからコードをスキャンして、スイッチに関する情報を示す Cisco Nexus HyperFabric ページを開くことができます。

QR コードの詳細については、『Cisco Nexus Hyperfabric シリーズの QR コード』ドキュメントを参照してください。

スイッチのQR コードをスキャンするには、次の手順に従います。

- ステップ1** モバイルデバイスのカメラ アプリを活用、スイッチのQR コード ステッカーの1つをスキャンし、コードからURLに移動します。
- ステップ2** Cisco Nexus HyperFabric にログインするように求められた場合は、ログイン情報を入力します。
- ステップ3** 表示されるページでスイッチに関する情報を確認します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。